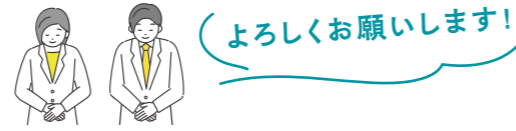


新入職ドクターのご紹介



整形外科

整形外科部長/手外科センター長

三戸 一晃
(みと かずあき)

専門

整形外科全般、手・肘

略歴

平成15年 慶應義塾大学医学部 卒業

資格

日本整形外科学会専門医
日本手外科学会専門医・指導医
日本手外科学会代議員
米国手外科学会(ASSH)国際メンバー



救急総合診療科 / 救急センター

救急総合診療科部長/救急センター長

山田 太平
(やまだ たいへい)

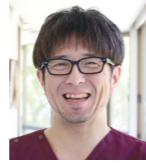
専門 救命救急科

略歴 平成16年

兵庫医科大学医学部 卒業

資格

博士(医学)
日本救急医学会専門医・指導医
日本集中治療医学会専門医
日本外傷学会専門医
日本災害医学会認定災害医療上級ロジスティクス専門家
日本救急医学会認定 ICLS・BLSコースディレクター
JPTEC 近畿世話人
JATEC インストラクター
日本災害医学会 MCLS 管理世話人
日本DMAT インストラクター統括 DMAT 登録者
国際緊急援助隊医療チーム 登録者
空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”ロスター



脳神経外科

脳神経外科部長

吉田 真一郎
(よしだ しんいちろう)

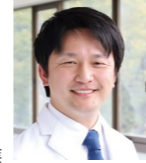
専門 脳神経外科

略歴 平成27年

兵庫医科大学医学部 卒業

資格

日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本脳血管内治療学会 脳血管内治療専門医
日本脳血管内治療学会 脳血管内治療指導医
日本神経内視鏡学会 技術認定医
日本脳卒中学会 脳卒中専門医
FRED 留置認定医
W-EB 留置実施医
Pipeline 留置実施医
ONYX・NBCA 投与認定医
日本認知症予防学会 認知症予防専門医



救急総合診療科 / 救急センター

原 俊介
(はらしゅんすけ)

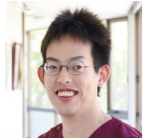
専門
救命救急科

略歴

令和2年 島根大学医学部 卒業

資格

米国心臓協会(AHA)BLS・ACLSプロバイダー
JATECプロバイダー
JPTECプロバイダー
MCLSプロバイダー
ドクターヘリ講習会 修了
空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”ロスター



消化器内科 / 消化器内視鏡センター

田中 聡真
(たなか そうま)

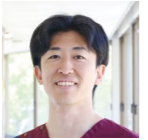
専門
消化器内科

略歴

令和3年
福井大学医学部 卒業

資格

米国心臓協会(AHA)BLS・ACLSプロバイダー
JATECプロバイダー
JPTECプロバイダー
MCLSプロバイダー
ドクターヘリ講習会 修了
空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”ロスター



耳鼻咽喉科

濱田 ゆうき
(はまた ゆうき)

専門
耳鼻咽喉科

略歴

平成20年 愛知医科大学医学部 卒業

資格

医学博士
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
日本産科婦人科学会産婦人科専門医
日本めまい平衡医学会認定めまい相談医



産科・婦人科

鈴木 泉
(すずい いずみ)

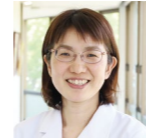
専門
産婦人科

略歴

平成24年 香川大学医学部 卒業

資格

日本産科婦人科学会産婦人科専門医
マンモグラフィ読影評価 B
2022年度女性ヘルスクエア研修会修了
Introduction to Clinical Research Training-Japan Program 2021 修了
緩和ケア研修会修了

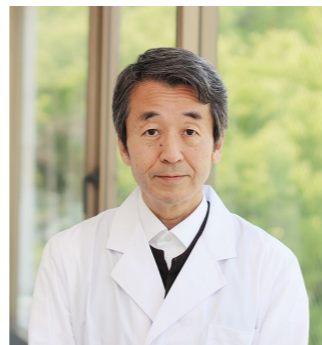


編集後記

この度はGENERALINKをお手に取って頂きありがとうございます。4月になり当院ではインフルエンザの患者様はまだみられるものの徐々に減ってきています。新型コロナウイルス感染症は、最初の流行以来かつてない少なさです。このまま収束するのでしょうか。安心するにはまだ早いかもしれませんが、当院では入院患者様への面会時間枠を拡張しました。

今回は当院に新たに着任されたドクターのご紹介です。当院にしばらく無かった産科の下川医師、また長年救急医療に携わってこられた山田医師、当院の整形外科の枠を広げて下さるであろう手の整形外科を専門とされる三戸医師、さらには当院に無かった脳神経外科の吉田医師です。各々の医師の記事も是非ご一読頂ければ幸いです。やる気に満ち溢れた新しい仲間を迎え、病院全体が活気づいています。

当院の理念は「地域になくてはならない病院になる」ですが、本年の診療報酬改定にも、より地域のニーズに応えられる病院像が求められています。お産や、より広いジャンルの疾患への対応、急変にも今まで以上に対応できる体制が整ったと自負しております。今後も地域の皆様に信頼され、安心して頂ける病院を目指して参ります。今後とも神戸百年記念病院を何卒よろしくお願い申し上げます。



副院長
循環器病センター センター長
鈴木 秀治 Shuji Suzuki



地域医療機関向け広報誌 ジェネラルリンク

GENERALINK

総合病院の総合(GENERAL)と、連携(LINK)を組み合わせた造語になります。私たち神戸百年記念病院は、「地域になくてはならない病院になる」という理念のもと、地域の医療を共に支えるために、相互連携していきたいと強い想いを込めて作成しました。

2026.05
20

特集

診療科のご紹介

産科・婦人科 / 脳神経外科 / 救急総合診療科 / 整形外科(手外科センター)



神戸百年記念病院
公式マスコットキャラクター

ピャクペン



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

地域医療総合支援センター [月~金曜日]9:00-17:30 [土曜日]9:00-17:00 [日・祝日]休み

TEL.078-681-6250 FAX.078-686-1802

〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1 TEL.078-681-6111(代表)



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院



副院長
産科・婦人科 部長
下川 航
Ko Shimogawa

Message
当科はどなたでも気軽に受診できる産婦人科を目指しております。患者さまへのリスペクトを大切に、治療法も患者さまのライフスタイルに寄り添った提案をいたしますので、先生方の大切な患者さまを安心してご紹介ください。

01 診療体制

当院は地域になくてはならない産婦人科を目指して、2026年より腹腔鏡手術を開始しており、秋より24時間対応の無痛分娩の取り扱いを開始します。



02 婦人科

婦人科領域ではまだ実施施設の少ない腔からの**単孔式手術であるvNOTES**を導入しております。下腹部に数カ所の創ができる従来の腹腔鏡手術と異なり、傷は腔の奥1カ所となりますので美容的観点からも優れた術式です。腹腔内の癒着が想定される症例には不向きで、やや適応に制限がありますが、若年の卵巣嚢腫などにも適応が拡大している手術です。

03 産科

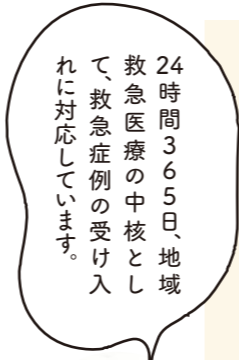
産科では、新型出生前検査や胎児スクリーニングを導入し妊娠中のお母さんの安心をサポートするとともに、分娩時には**24時間対応可能な無痛分娩**を選択できる体制を準備しております。



初期診療から入院管理まで、一貫した救急診療に対応しています
救急総合診療科 部長
中村 俊介 (Syunsuke Nakamura)
山田 太平 (Taihei Yamada)
原 俊介 (Shunsuke Hara)
吉郷 摩利子 (Mariko Kogou)

01 経歴

私は、兵庫医科大学卒業後、同大学病院救命救急センターにて研鑽を重ね、岡山大学病院救急科・救命救急科助教、岡山大学大学院救急外傷治療学講座講師、兵庫医科大学救急・災害医学講座准教授を経て、2026年4月に救急総合診療科部長として新入職いたしました。



02 診療の特徴

当科では、救急医療を基盤として、内因性・外因性を問わず多様な症候・病態に対応し、初期診療から入院管理、専門診療科への橋渡しまで一貫した診療を行っております。診断未確定の段階においても全身を俯瞰して評価し、**迅速かつ的確な初期対応を実践**できる点を当科の強みとしております。

03 地域の先生方へ

地域の医療機関の先生方との緊密な連携を重視し、救急搬送の適応判断に迷われる症例や、全身管理を要する患者さまにつきましても、どうぞ遠慮なくご紹介・ご相談を賜りますようお願い申し上げます。



脳神経外科
吉田 真一郎
Shinichiro Yoshida

開頭術から血管内治療まで、幅広い治療に対応しています

01 診療への思い

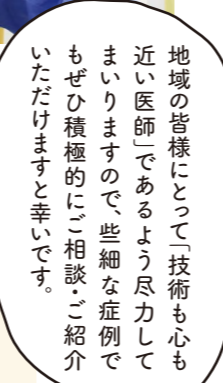
4月1日付で着任いたしました吉田真一郎です。私は医師家系ではなく、高校時代の家族の病気を機に、患者側が抱く不安や葛藤を肌で感じて育ちました。手塚治虫の『ブラックジャック』に憧れた当時の情熱を原点に、常に患者さまとご家族に寄り添う診療を心がけています。

02 診療の特徴

専門病院での豊富な手術経験を活かし、開頭術から**低侵襲な血管内治療(フローダイバーター等)**まで幅広く対応いたします。技術的な強みのみならず、遠隔読影・指示システムの活用により24時間体制を構築し、脳卒中から外傷まで地域の切実なニーズに即応できる体制を整えております。

03 地域の先生方へ

緊急性の高い急性期脳卒中のご紹介はもちろん、予防手術や管理が必要な未破裂脳動脈瘤・内頸動脈狭窄症、外傷などの一般的な疾患についても、丁寧な説明に基づき最適な治療をご提示します。



整形外科部長
手外科センター長
三戸 一晃
Kazuaki Mito

01 センターの特徴

手外科疾患において、外傷から変性疾患まで幅広く対応できる国内有数の基幹センターを目指し、当センターを開設いたしました。私は、伝統ある慶應義塾大学整形外科上肢班に所属し、関連病院の手外科センター長を務めてまいりました。高度な専門性を要する疾患の治療はもちろん、地域医療への貢献を目的として、日常的によくみられる疾患に対する保存加療や生活指導まで幅広く対応いたします。



02 地域の先生方へ

これまで朝田院長を中心として行ってきた、堅実かつ幅広い疾患に対応する整形外科診療を基盤に、さらに質の高い医療の提供を目指して発展させたのが「手外科センター」です。患者さまの生活背景やご希望に配慮し、「手外科センター」の名にふさわしい専門的かつ満足度の高い治療を提供することを第一に考えています。また、「地域の病院」として、受診や紹介に対するハードルを感じることなく、気軽に相談できる拠点となり、周辺のクリニックや医療機関との連携も重視し、保存療法や運動療法などのSelf-medicationの推進も行います。セカンドオピニオンとしてのご相談も含め、お気軽にご紹介ください。

経歴
慶應義塾大学医学部を卒業後、同年に慶應義塾大学整形外科に入局。足利赤十字病院、大田原赤十字病院、済生会横浜市東部病院などの三次救急病院にて、外傷を中心とした手外科治療の経験を積む。2021年からスタンフォード大学整形外科でJeffrey Yao教授に師事し、CM関節症などCommon Diseaseに対する治療の考え方を学ぶとともに、臨床応用を念頭に置いた骨再生医療の基礎研究に従事。2024年より川崎市立川崎病院整形外科 手肘外科センター長に就任。日本手外科学会代議員、米国手外科学会国際メンバー、神奈川上肢外科研究会世話人。2026年4月に『ヘバーデン結節のリセット法』(アスコム)を出版。

